

糖尿病教室における薬剤師の仕事

糖尿病教育入院

1月に1回、糖尿病教育入院を行っています。糖尿病教育入院は、糖尿病と診断された患者さんが、糖尿病という病気に向き合い、自主的に治療に取り組んでいくことが出来るようにする事、様々な検査により合併症の早期発見をする事、を目的に行われています。

8日間を通して、医師、看護師、薬剤師、理学療法士、管理栄養士が、カンファレンスを行い、患者さんの情報や、患者さんの治療上の問題点を共有した上で、糖尿病の病態や合併症・治療法(食事療法・運動療法・薬物療法)についての講義や指導、各種様々な検査を行っています。

その中で薬剤師は、内服することの意義や薬の効き方や服用上の注意点、インスリン自己注射の手技や管理、血糖自己測定について、当院で作成した資料をもとに説明を行っています。また、低血糖時の症状やその対処法、どういったときに起きやすいかなどパンフレットを用いて説明し、安心して治療を行っていただけるようにサポートしています。

